

本模擬問題における問題等の著作権はすべて東京CPA会計学院に帰属します。無断転載・二次利用は固く禁止いたします。

第1問〔各④点、合計20点〕

	仕 訳			
	借 方 科 目	金 額	貸 方 科 目	金 額
1	普 通 預 金 創 立 費	60,000,000 350,000	資 本 金 資 本 準 備 金 現 金	30,000,000 30,000,000 350,000
2	買 掛 金	500,000	為 替 差 損 益	500,000
3	満期保有目的債券 有価証券利息	48,400,000 126,000	当 座 預 金	48,526,000
4	固定資産圧縮損	300,000	備 品	300,000
5	ソフトウェア 長期前払費用	4,230,000 630,000	ソフトウェア仮勘定	4,860,000

第 2 問 [] につき 20 点、合計 20 点

問 1

銀行勘定調整表

平成 31 年 3 月 31 日

(単位：円)

銀行の残高証明書の残高	(883,800)			
加算： [①]	(71,000)			
[②]	(23,000)			
[⑥]	(35,000)	(129,000)
減算： [③]	(58,000)			
[④]	(14,000)			
[⑤]	(18,000)	(90,000)
企業の当座預金勘定の残高	(922,800)			

※ ①・②・⑥および③・④・⑤は順不同

問 2

	企業側の修正仕訳			
	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕訳なし			
②	現金	23,000	当座預金	23,000
③	仕訳なし			
④	当座預金	14,000	未払金	14,000
⑤	当座預金	18,000	備品	18,000
⑥	通信費	35,000	当座預金	35,000

問 3

現金	¥	158,340
当座預金	¥	896,800

問 4

雑 (損)	¥	900
---------	---	-----

第3問〔 につき2点、合計20点〕

		損	益	計	算	書
CPA商事(株)		(自平成30年4月1日 至平成31年3月31日)				(単位:円)
I	売上高					22,220,000
II	売上原価					
	1 期首商品棚卸高	(1,440,600)		
	2 当期商品仕入高	(12,495,000)		
	合 計	(13,935,600)		
	3 期末商品棚卸高	(1,528,800)		
	差 引	(12,406,800)		
	4 (棚卸減耗損)	(14,700)		
	5 商品評価損	(43,260)	(12,464,760
	(売上総利益)				(9,755,240
III	販売費及び一般管理費					
	1 給 料		3,707,000			
	2 退職給付費用	(658,950)		
	3 修繕費	(946,000)		
	4 水道光熱費	(640,000)		
	5 保険料	(230,000)		
	6 減価償却費	(788,669)		
	7 貸倒引当金繰入	(60,000)	(7,030,619
	(営業利益)				(2,724,621
IV	営業外収益					
	1 受取利息	(27,000)		
	2 有価証券売却益		96,800			
	3 有価証券(評価益)	(41,600)	(165,400
V	営業外費用					
	1 支払利息		216,321			
	2 貸倒引当金繰入	(30,000)	(246,321
	(経常利益)				(2,643,700
VI	特別利益					
	(固定資産売却益)	(600,000)		
VII	特別損失					
	(火災損失)	(243,700)		
	税引前当期純利益				(3,000,000
	法人税、住民税及び事業税	(912,000)		
	(法人税等調整額)	(12,000)	(900,000
	(当期純利益)				(2,100,000

※ 「火災損失」は「災害損失」でも可

※ 法人税等調整額は「△12,000」でも可